

事業番号	02 04 02	事業改善シート（26年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	並行在来線対策事業費			担当課	部局	企画振興部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	交通政策課	
	施策の総合的展開	5-1 高速交通・情報通信ネットワークの充実 1 新幹線の整備促進			E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	H18 ~		

1 事業の概要

目指す姿	平成27年3月の北陸新幹線金沢延伸により、JR東日本から経営分離される長野以北並行在来線の安定的な経営を確保する。自分たちの鉄道(マイレール)という意識を醸成し、住民が主体となり、地域全体が継続した利用促進に取り組む体制を構築する。経営主体となるしなの鉄道において、初期設備投資、開業準備等を着実にやり、新幹線金沢延伸時の開業を万全なものとする。成果目標:鉄道の営業キロ数 750.2km(H24)→780.1km(H29)		
現状	○平成24年3月に長野以北並行在来線対策協議会が策定した「長野以北並行在来線経営基本計画」に基づき、しなの鉄道で開業に向けた初期設備投資・準備等に取り組んでいる。 ○地域一体となった利用促進のため、県・沿線関係市町・しなの鉄道・関係団体・住民組織の代表等が参加した「しなの鉄道北しなの線運営協議会」を平成26年2月に設置した。		

県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 ・沿線市町と連携し、並行在来線の維持を図ることは、新幹線着工時からの県の責務である。 ・路線の利用促進には、沿線住民等の協力が不可欠。
	県民との協働による実施:可能	

成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)				
	○開業までのスケジュールに沿って、円滑な初期設備投資及び開業準備に取り組む。 ○地域と連携した利便性の高い鉄道に向け、沿線住民への要望把握とダイヤ・運賃等の情報提供に取り組む。 ○運営協議会と連携し、開業に向けた機運醸成と地域一体となった利用促進に取り組む。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H26実施内容	H26	
			(補正前)	(2月補正)	(補正後)
長野以北並行在来線対策協議会負担金	負担金	沿線住民・利用者への要望調査、情報提供及び開業に向けた機運醸成と利用促進	746	0	746
長野以北並行在来線開業準備事業費補助金	補助金	JR譲受資産取得、初期設備投資及び開業準備への補助	4,444,365	-85,419	4,358,946
合計			4,445,111	-85,419	4,359,692

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26補正後
	前年度繰越	0	0	0	0
	当初予算	9,114	17,271	301,282	4,445,111
	補正予算	0	51,356	-81,489	-85,419
	合計(A)	9,114	68,627	219,793	4,359,692
	国庫支出金	0	0	0	0
	県債	0	0	84,000	1,810,000
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	9,114	68,627	135,793	2,549,692
	決算額(B)	9,396	68,008	219,793	
概算人件費	職員数(人)	0.20	0.40	0.40	0.40
概算人件費(C)	1,652	3,303	3,303	3,303	
概算事業費(B(A)+C)	11,048	71,311	223,096	4,362,995	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
県内鉄道キロの維持	750.2km	780.1km			

要求からの主な変更点	要求どおり
------------	-------